

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

矢巾町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県紫波郡矢巾町

3 地域再生計画の区域

岩手県紫波郡矢巾町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、令和2年に実施された国勢調査において28,056人であり、平成22年の国勢調査結果（27,205人）、平成27年の国勢調査結果（27,678人）と比較すると、人口減少が続く岩手県内において数少ない人口が増加した自治体であるが、国立社会保障・人口問題研究所の令和5年の推計によると、令和32年には、22,283人まで減少すると推計されており、人口は減少傾向にある。

年齢3区分別の人口割合のうち、総人口に占める老年人口（65歳以上）の割合は、平成27年：23.7%（6,527人）→令和2年：26.6%（7,370人）→令和4年：28.3%（7,499人）と推移しており、確実に高齢化が進行している。また、年少人口（0～14歳）の割合は、平成27年：13.1%（3,620人）→令和2年：12.5%（3,469人）→令和4年：11.9%（3,146人）と推移し、生産年齢人口（15～64歳）の割合は、平成27年：63.2%（17,453人）→令和2年：60.9%（16,894人）→令和4年：59.8%（15,813人）となっている。

自然動態を見ると、平成22年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が続いており、令和4年では、176人の自然減となっている。また、合計特殊出生率は、全国、岩手県を下回って推移しており、直近では1.16（令和3年）と、人口置換水準である2.07を大きく下回っている。

社会動態について、令和元年までは、転入者が転出者を上回る社会増傾向にあったが、令和2年以降は転出超過が続き、令和4年には転入者が1,044人に対し

て転出者が1,200人と156人の社会減となっている。

このような、高齢化の進行と転入出による住民の入れ替わりが、地域コミュニティの希薄化、まちの魅力の低下並びに住民や事業者の流出に伴う生活利便性及び行政サービスの低下を引き起こしている。そのため、イベント開催、特産品開発及び企業誘致等による地域産業の活性化や、先進的技術を活用した課題解決及び電子化の推進によって住民の利便性向上等を図りながら新たな住民を呼び込むことと並行して、地域の様々な担い手がまちづくりに積極的に参画し、多様な人材が活躍できる環境を整えながらまち全体の魅力を高めていくことで、町全体を活性化させ、さらに人を呼び込んでいく好循環を生み出していくことが重要である。

本計画は、次の基本目標を掲げ、地域の活力を高め、町民がいつまでも本町に住み続けたいとなるまちづくりを推進するものである。

基本目標① 元気を発信し活力を呼び込むまちづくり

基本目標② 誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり

基本目標③ 豊かな環境を守り伝えるまちづくり

基本目標④ まちの発展を支える持続可能な行財政運営の確立

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町が関連し町内事業者が 参加する町内イベント回 数	8回	13回	基本目標①
ア	企業体設立または事業者 マッチング成立件数	0件	1件	基本目標①
ア	新規就農者数	5人	7人	基本目標①
ア	集落営農組織の法人化件 数	9件	10件	基本目標①

ア	福祉施設入所者とのマッチングに向けた取り組み件数	8件	10件	基本目標①
ア	有害鳥獣による農作物の年間被害額	5,283千円/年	5,019千円/年	基本目標①
ア	農業者年金の新規加入者数	1人	2人	基本目標①
ア	企業誘致に関する接触企業数	49社	56社	基本目標①
ア	矢巾町企業連絡会の交流事業・研修事業等の件数	3件	8件	基本目標①
ア	産学官金連携の会議開催件数	1件	5件	基本目標①
ア	小・中・高・大学生向けインターンシップ事業の参加者数	129人	329人	基本目標①
ア	創業支援補助金の実績件数	2件	6件	基本目標①
ア	西部地域の観光客入込数	139,250人/年	141,937人/年	基本目標①
ア	SNS等による情報発信数（地域情報発信ステーション）	48回/年	49回/年	基本目標①
ア	特産品開発件数	2件	4件	基本目標①
ア	年間転入者数	1,029人	1,046人	基本目標①
ア	若者向けイベント開催件数	0件	1件	基本目標①
イ	SDGs推進に向けた周知啓発の取り組み件数	3件	6件	基本目標②

イ	コミュニティのあり方の 見直しに取り組む行政区 数	0地区	7地区	基本目標②
イ	新たなコミュニティ創造 に向けた支援実施件数	0件	2件	基本目標②
イ	障がいのある人への理解 が深まってきていると思 う割合	38.4%	38.8%	基本目標②
イ	障がいに関する理解促進 の場の設置回数	2回/年	3回/年	基本目標②
イ	平和に関するイベント等 の年間参加者数	110人/年	120人/年	基本目標②
イ	人権保護に関するイベン トの開催数	8回	9回	基本目標②
イ	芸術祭来場者数	870人/年	902人/年	基本目標②
イ	音楽祭来場者数	750人/年	812人/年	基本目標②
イ	国際交流ふれあい広場参 加者数	20人/年	25人/年	基本目標②
イ	男女共同参画サポーター 養成人数	32人	36人	基本目標②
イ	男性の育児・介護休暇取 得促進のための情報発信 件数	2件	4件	基本目標②
イ	スポーツ交流イベント参 加者数	700人/年	775人/年	基本目標②
イ	県民体育大会出場競技数	18競技/年	19競技/年	基本目標②
イ	障がい者スポーツ普及イ ベント参加者数	93人/年	119人/年	基本目標②
イ	課題の解決に向けて、自	小学生23%	小学生24%	基本目標②

	分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒の割合	中学生33%	中学生34%	
イ	PC、タブレットなどのICT機器を週3日以上使用した割合	小学生42% 中学生33%	小学生44% 中学生35%	基本目標②
イ	いじめはいけないと思う児童生徒の割合	小学生84% 中学生85%	小学生85% 中学生86%	基本目標②
イ	自分の住む地域には、良いところがあると思う児童生徒の割合	小学生61% 中学生45%	小学生62% 中学生46%	基本目標②
イ	学校経営への参画における満足度	0	0.8	基本目標②
イ	教育振興運動の実践活動地区数	42地区	43地区	基本目標②
イ	若い世代を対象とした講座の参加者数	240人/年	280人/年	基本目標②
イ	公民館自主事業参加者数	600人/年	637人/年	基本目標②
イ	図書センター蔵書数	75,000冊	78,750冊	基本目標②
イ	1歳6か月児健診受診率	97%/年	98%/年	基本目標②
イ	地域の居場所がある行政区数	31箇所	34箇所	基本目標②
イ	特定保健指導実施率	37%/年	40%/年	基本目標②
イ	健康づくり事業活動参加者数	502人/年	611人/年	基本目標②
イ	乳幼児（麻しん風しん第1期）予防接種接種率	88.8%/年	91.1%/年	基本目標②
イ	特定健診受診者の生活習慣病未治療者への受診勧	95%/年	96.2%/年	基本目標②

	奨の実施率			
イ	認知症サポーター養成者数	8,277人	8,957人	基本目標②
イ	生活支援協議会における多機関での地域課題の共有及び検討の実施回数	3回	6回	基本目標②
イ	現在の矢巾町の状況への満足度（出産・子育て・育児への支援）	28.1%	33.5%	基本目標②
イ	こども家庭センターの設置数	0箇所	1箇所	基本目標②
イ	ゲートキーパー養成講座の年間参加者数	140人/年	145人/年	基本目標②
イ	福祉担当課が行う人材養成を目的とした研修会・イベントの企画件数	4件/年	5件/年	基本目標②
イ	受理した相談の終結率	78.7%/年	79%/年	基本目標②
イ	町道改良率	36.1%	36.2%	基本目標②
イ	基幹河川整備進捗率	77%	78%	基本目標②
イ	既存住宅に対する長寿命化計画の見直し実施率	0%	25%	基本目標②
イ	空き家解消件数	11件	13件	基本目標②
イ	都市公園長寿命化計画の見直し実施率	0%	25%	基本目標②
イ	遊具に関するコミュニティとの意見交換の実施回数	0回	3回	基本目標②
イ	公共交通の年間利用者数	19,755人/年	20,066人/年	基本目標②
イ	消防ポンプ自動車の更新	84.6%	88.4%	基本目標②

	率			
イ	地区等が計画する防災活動への支援の実施回数	5回/年	6回/年	基本目標②
イ	広域的な消防・救急体制の拠点整備に関する検討及び提言（要望）の実施率	0%	25%	基本目標②
イ	災害時避難行動要支援者に係る個人情報提供同意率	34.57%	38.4%	基本目標②
イ	田んぼダム導入地区数	2地区	3地区	基本目標②
イ	住民参加型の地域安全・防犯に係る活動の実施回数	2回/年	3回/年	基本目標②
イ	各行政区における防犯灯設置位置見直しの実施割合	0%	25%	基本目標②
イ	消費者被害防止に関する情報発信回数	5回/年	6回/年	基本目標②
イ	交通安全施設改善要望に係る協議等の実施回数	1回/年	2回/年	基本目標②
ウ	重点対策加速化事業による再エネ発電量	33kw	399kw	基本目標③
ウ	多面的機能支払交付金事業対象農用地面積	2,060ha	2,060ha	基本目標③
ウ	農業委員の最適化活動月間平均日数	4日/人	5日/人	基本目標③
ウ	野外活動講座の参加者数	45人/年	53人/年	基本目標③
ウ	不法投棄回収量	120kg/年	108kg/年	基本目標③
ウ	家庭系ごみの減量化率	0.7%	1.7%	基本目標③

ウ	歴史的資産に関する町民 向けの説明会、学習会の 参加者数	31人/年	48人/年	基本目標③
ウ	徳丹城跡に関するイベン トの参加者数	400人/年	450人/年	基本目標③
ウ	矢巾町郷土芸能保存会登 録団体数	14団体	15団体	基本目標③
エ	(仮称)産業立地推進計 画の策定率	0%	25%	基本目標④
エ	公共施設に係る運営コス トの増加率	0%	2%	基本目標④
エ	官民連携手法により利活 用の検討を行った公有財 産件数	6件	7件	基本目標④
エ	整備を行った施設数(児 童館)	4施設/年	4施設/年	基本目標④
エ	火葬場整備基本構想の策 定	0%	25%	基本目標④
エ	多目的室内練習施設・ス ポーツ健康科学センター の誘致に向けた要望活動 回数	0回	1回	基本目標④
エ	町民総合体育館の整備方 針決定	0%	25%	基本目標④
エ	フューチャー・デザイン ワークショップを実施し た事業数	2件	3件	基本目標④
エ	懇談会・ワークショップ の実施回数	0回	6回	基本目標④

エ	実質公債費比率	15.7%	15.4%	基本目標④
エ	通所型サービスC事業（リ アクト）参加者数	39人	63人	基本目標④
エ	特定健康診査受診率	47.8%/年	49.6%/年	基本目標④
エ	行政システムの標準化に よる住民サービス向上基 盤整備率	0%	25%	基本目標④
エ	町公式インスタグラムフ ォロワー数	1,700人	1,850人	基本目標④
エ	広報分野の専門的な研修 会への職員派遣延べ人数	5人	6人	基本目標④
エ	水道事業の経常収支比率	136.96%	130.22%	基本目標④
エ	水道事業の有収率	93.7%	93.8%	基本目標④
エ	水道管の耐震適合率	42.4%	43.8%	基本目標④
エ	下水道管路施設のストッ クマネジメント計画策定 率	0%	25%	基本目標④
エ	下水道ストックマネジメ ント計画に対するテレビ カメラ調査の実施率	100%	100%	基本目標④

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

矢巾町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 元気を発信し活力を呼び込むまちづくり事業

イ 誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり事業

ウ 豊かな環境を守り伝えるまちづくり事業

エ まちの発展を支える持続可能な行財政運営の確立事業

② 事業の内容

ア 元気を発信し活力を呼び込むまちづくり事業

本町の魅力や情報を積極的に発信し、新たな町民や熱意ある事業者を広く受け入れその活躍を促進することによって、町内全域の活性化や、活気が新たな活気を呼ぶ機運の醸成を目指す。

【具体的な事業】

- ・ 地域経済の好循環構築事業
- ・ 産学官金連携による新事業創出事業
- ・ 農業従事者と後継者の確保事業
- ・ 西部地域の観光活性化事業 等

イ 誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり事業

一人ひとりの幸福感の向上を図るとともに、身近な地域で町民同士が互いにつながり支え合いながら、全ての世代が生き生きと安心して暮らせる社会の実現を目指す。

【具体的な事業】

- ・ 妊娠・出産・子育て環境づくり事業
- ・ 音楽のまち推進事業
- ・ スポーツのまち推進事業
- ・ 高齢者の生きがいづくりと社会参加促進事業 等

ウ 豊かな環境を守り伝えるまちづくり事業

南昌山をはじめとする西部の山々や町内に広がる田園風景等の豊かな自然環境と、地域の伝統行事、郷土芸能等が育まれてきた文化的環境を、次世代を担う子どもたちや将来の世代に伝えるため、その保全と価値の向上を目指す。

【具体的な事業】

- ・農地と田園風景の保全事業
- ・環境美化事業
- ・国指定史跡徳丹城跡の魅力発信事業
- ・伝統芸能の後継者育成事業 等

エ まちの発展を支える持続可能な行財政運営の確立事業

各施策を推進し町勢の着実な発展を図るため、将来にわたり安定した行財政運営を可能とする仕組みの確立を目指す。

【具体的な事業】

- ・公有財産利活用促進事業
- ・スポーツ施設整備事業
- ・D X推進事業
- ・情報発信の強化事業 等

※ なお、詳細は第8次矢巾町総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

690,000 千円（令和6年度）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

【検証方法】

毎年度3月頃に、矢巾町まち・ひと・しごと創生総合戦略及び総合戦略に基づき実施する事業について町が産学官金労言士など各分野の有識者等から意見を聞くために開催する矢巾町地方創生懇談会において意見聴取を行い、評価を行う。

【外部組織の参画者】

産業関係団体の関係者（矢巾町商工会）、学術機関の関係者（岩手県立大学）、金融機関の関係者（矢巾町金融団）、労働団体の関係者、報道機関又は芸術文化団体の関係者、その他本町長が必要と認める者

【検証結果の公表の方法】

評価の実施後、速やかに本町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで